

川口市民オンブズマン

選挙の公費負担 市などに意見書

川口市長選・市議選の公費負担の無駄遣いを防ぐとして、川口市民オンブズマン（村松幹雄代表）は29日、市と市議会に意見書を提出し、「公金が不透明に

費やされる惰性からの脱却」を求めた。

市は今月、ポスターの公費負担限度枚数を掲示場の2倍から1・2倍に改正。単価の上限価格も818円から810円に改めた。

意見書は、改正の動き自体は評価しつつ、「単価の上限は国政選挙の基準を適用しただけ。市場価格を無視し、非現実的」と指摘。「会計処理の際、支出に対する詳細な内訳の確認をしていないのが実態」などと改善を求めている。